



## → 簡易検査

自宅でも取扱い可能な検査機器を使って、普段と同じように寝ている間にできる検査です。手の指や鼻の下にセンサーをつけ、いびきや呼吸の状態から無呼吸や低呼吸、重症度の判定が可能です。自宅でもできる検査なので、普段と変わらず仕事や日常生活をそれほど心配せずに検査することができます。

※簡易検査は、業務委託しております。

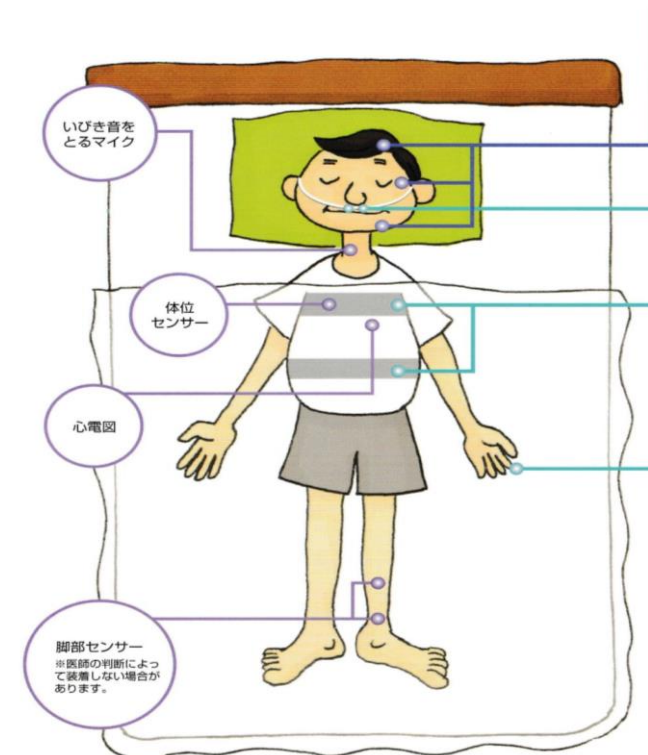
1. 当院にて臨床検査技師が検査機器取り付け説明を致します。
2. 委託業者より直接お電話致します。再度、簡単な説明と検査日の確認を致します。
3. ご自宅に検査機器を宅配便にてお届け致します。一晚検査機器を装着して就寝して下さい。
4. 終了しましたら、検査機器を委託業者まで着払いでご返送下さい。(着払い伝票は同梱してあります)
5. 外来診察時に検査結果をご説明致します。



## → 精密検査(1泊入院検査)

簡易検査よりもさらに詳しく、睡眠と呼吸の「質」の状態を調べる検査です。脳波や筋電図、眼球の動きなどを測定することで、睡眠の深さ(睡眠段階)、睡眠の分断化や覚醒反応の有無、睡眠構築、睡眠効率などを呼吸状態の詳細とあわせて定量的に算出します。

体にさまざまなセンサーをつけて、眠っている間の睡眠と呼吸状態を調べます。  
少しわずらわしいと感じるかもしれませんが、痛みを伴う検査ではありません。  
安心して検査を受けてください。



脳波・目の動き・顎の筋電図により、睡眠の深さや本人が気がつかない脳の目覚め(覚醒反応)を調べて睡眠の質を総合的に評価します。

### 気流センサー

口鼻からの気流の流れを測定し、無呼吸や呼吸が弱くなった状態(低呼吸)が無いかを調べます。

### 胸部/腹部センサー

胸部と腹部に巻いたバンドセンサーにより、呼吸する時に使う筋肉の動きを調べます。これにより気道が閉じてしまって無呼吸になるタイプ(閉塞型)と、脳からの呼吸刺激がないタイプ(中枢型)の鑑別が可能です。

### 動脈血酸素飽和度(SpO2)

血液中の酸素濃度の目安を%で表示します。換気が悪くなると、酸素濃度が下がり、体に悪影響を与えます。換気の指標となる重要な測定項目です。

## ➡ 主な治療

「Continuous Positive Airway Pressure」の頭文字をとって、「CPAP(シーパップ)療法:経鼻的持続陽圧呼吸療法」と呼ばれます。閉塞性睡眠時無呼吸タイプに有効な治療方法として現在欧米や日本国内で最も普及している治療方法です。マスクを通して、空気を持続して送り、気道を広げることで、無呼吸やいびきを消失させます。最も安全かつ確実な方法で、多くの方がこの治療を行っています。

※検査により、基準値以上の無呼吸症と診断され、月1回の受診をすると健康保険の適応となります。

### CPAP 装置は保険診療下で貸与されます

日本の医療保険制度では、CPAP 装置を医療機関からレンタルして使用するのが一般的です。

機器の保守管理やマスク・エアチューブなど治療に必要な消耗品の供給は医療機関または在宅医療会社が対応しています。



## ➡ 診療の流れ

### 1. 外来受診

診療科:外科 担当医:新井

診察日	月	火	水	木	金	土※
午前	○	○				○
午後				○		

※第2・第4のみ

### 2. 簡易検査を実施

自宅で検査を行います。(業務委託)

### 3. 精密検査(簡易検査で必要と診断された場合)

当院にて検査を行います。

### 4. 治療開始(CPAP)

検査結果、治療方針に同意していただくと開始になります。

### 5. CPAP の継続 毎月の受診

体調変化や治療状況等の相談。

## ➡ お問い合わせ先

医療法人石井会 石井病院 TEL:0270-21-3111(代表) 住所:群馬県伊勢崎市波志江町 1152

## ➡ 関連リンク

無呼吸なおそう.com いびきや睡眠時無呼吸症候群に悩む方のためのポータルサイト <http://659naoso.com/>